

県立高等学校の将来像の検討にかかる調査研究委員会の設置について

1 設置の趣旨

予測することが困難であると言われるほど社会情勢が大きく変化する中で、教育的課題はより複雑化・多様化しています。そのような中、これからの時代を生きていく高校生にどのような力を育み、本県の高校でどのような教育を進めるべきかなど、これからの三重の高校教育のあり方について検討する必要があります。

こうした三重の県立高校の将来像については、当三重県教育改革推進会議を中心に今後議論・整理していきますが、既存の高校教育の枠にとらわれない幅広で多様な観点・角度から調査し考察を加えるため、STEAM教育やICTを活用した教育、不登校児童生徒や外国人児童生徒への支援などの専門的識見を有する方、社会で活躍する県立高校の卒業生など、様々なバックボーンや経験を持つ方で構成する「県立高等学校みらいのあり方検討委員会」（以下「みらい委員会」という。）を設置します。

なお、みらい委員会での議論や調査の結果については、今後の教育改革推進会議における議論の基礎資料となるものです。

2 みらい委員会の所掌事項及び組織等

(1) 構成について

ア 委員 推進会議から1名を兼務とし、その他委員は、産業・文化・教育分野・県立高校OBなどから幅広く構成

イ 人数 10名程度

ウ 任期 設置日より1年間

(2) 任務について

これからの本県における高校教育のあり方について、新たな時代の要請に応えるとともに、三重県の将来を展望する中で、これからの時代を生きていく高校生にどのような力を育むことが必要であり、そのために本県の高校でどのような教育を進めるべきかについて、幅広く多様な観点・角度から議論し、出された意見を整理して推進会議へ報告する。

(3) 今後の日程（予定）

9月～令和3年5月頃にかけて、5回程度を開催予定。

また、議論の必要性に応じて調査研究の判断材料とするため、学校現場の視察や地域社会のニーズ調査（アンケートなど）等を実施する。